

R&Iによる格付けの見直し

住商リースは、12月19日付にて株式会社格付投資情報センター(以下“R&I”)より格付けの見直しを受け、以下のとおり発行体の格付「A」及びユーロMTNプログラムの格付「A」を維持しました。また、コマーシャルペーパーについては、格付は最上位「a-1」を維持し、発行限度額は4,600億円から5,000億円に増額となりました。

発行体:住商リース株式会社(証券コード:8592)

【対象】	【発行枠】	【格付・方向性】
発行体格付		「A」・「安定的」(維持)
ユーロMTNプログラム	10億米ドル相当額	「A」(維持)
コマーシャルペーパー	4,600→5,000億円(増枠)	「a-1」(維持)

【R&Iによる格付事由】

住友商事の持ち分法適用会社の総合リース大手。

良質な収益資産の積み増しとリスク・リターンの改善、手数料収入の増強、コスト構造の改善などにより強固な収益基盤を構築している。

取扱商品に対する知識が豊富で、リース期間終了後の残価を適正に査定し処分する経験、ノウハウを蓄積し、こうした強みを発揮できる半導体製造装置や工作機械、土木建設機械といった分野を積極的に強化して成果をあげている。

また高い利ざやを確保する方針を順守しながら、不動産ノンリコースローン、船舶ファイナンス、ファクタリングなどの残高が増加している。リース事業は料率競争が厳しいが、これまでも継続的に収益性の高い分野を開拓しており、高い機動力を生かして新たな収益機会を発掘し続けそうだ。

資本・負債構成は改善している。事業ポートフォリオは多様化しつつあるが、事業特性の変化にあわせてリスク管理の高度化など経営管理を強化しており、リスクとバッファのバランスが崩れる懸念は小さい。

格付けの方向性は安定的。

CP発行枠を4600億円から5000億円に増枠する。発行枠は総資産規模に比べ大きいですが、発行・償還計画に照らして、代替流動性の水準に当面不足はないと考えている。